

八幡小学校・万年橋小学校・千代田小学校の再編に係る説明会 (第1回)での主なご質問・ご意見

【主なご質問】

○通学

Q1：統合した場合、跨線橋を通らないといけないのか。

A：通学路の安全確保については、通学路は統合準備の段階で決めていくこととなりますが、道路を管理する開発建設部や土木部、警察等で組織する通学路安全対策会議において、危険個所の点検等を行いながら、安全な通学路の設定と必要な安全確保対策を検討していきます。

Q2：校区として広すぎ、保護者の送迎ありきだと思う。今後も2km以内では、スクールバスは出ないということで良いか。

A：大森浜小の校区も通学距離はおおむね2km以内におさまっており、徒歩の圏内と考えています。国ではスクールバスの通学支援の基準をおおむね4kmとしており、函館市はこれに準じています。

○施設

Q3：閉校となった後の利活用と避難場所について聞きたい。避難が必要となったとき地域の人にもこの体育館を開放するなど、利活用させてほしい。

A：閉校後の校舎や跡地などについては、統廃合が正式に決定した後に、市全体でその活用方法の検討を進めていきますが、廃校となる校舎の老朽度や敷地の立地条件がそれぞれ異なることから、学校ごとに解体・売却といった財産処分や他の用途への転用も含め、有効活用を図っていくこととしております。また、統廃合により避難所を廃止する場合には、学校や市の施設以外の施設も対象として、立地や構造条件などを考慮したうえで、新たに指定を進めることとしております。

○その他

Q4：八幡小への統合により使用教室が増えるが、統合によって学童はなくなるのか。

A：仮に統合となった場合には、学童の利用数も増えるため、所管の子ども未来部と情報共有しており、学校に空き教室があるか、他に施設はあるかなども含めて、新しい施設の確保も検討しながら進めていきます。

Q 5：統合された場合、教員の業務は効率化されるのか、負担となるのか。

A：学級数が増えることにより、教員数は増えるため、より多い人数で業務分担ができますが、統合前に比べ1人の担任が受け持つ児童数が増えるケースは出てきます。

Q 6：統合して良かったこと、悪かったことを教えてほしい。

A：平成31年度に統合した大森浜小学校のアンケートでは、児童が、統合前に期待していることは友人関係・行事・生活面、保護者は友人関係・学習面となってました。また、統合前に心配なことは児童も保護者も友人関係という答えが多かったが、統合後、8割以上の児童、保護者も解消された、またはまあまあ解消されたと回答しています。

Q 7：統合となったら校区も広がるが、子どもの遊びに行ける範囲はそれによって広がるのか。

A：教職員、保護者等で組織する統合準備委員会で話し合いながら決めていきます。函館市の共通のきまりがあることから、それを参考にします。各校によって違いはありますが、学年が上がるにつれ、遊びに行ける範囲を段階的に広げていくルールとなっています。

【主なご意見】

- ・児童数の増加に伴い、学童の設置をしてほしい。
- ・通学路が長くなるので、安全確保に気を配ってほしい。
- ・統合後の廃校について、地域での活用や学校開放などでの活用もできるようお願いしたい。
- ・統合準備期間から子ども同士が仲良くなる機会を検討してほしい。
- ・通学路に誰かに立ってもらえると安心する。
- ・通学路や避難所を事前に示してもらわないと不安に思ってしまう。
- ・子どもたちのケアもしっかりしてほしい。